

<学界消息>

◇日本環境教育学会第11回大会記録

日時 2000年5月26日(金)～28日(日)
場所 戸倉上山田中学校・上山田文化会館

遠足

5月26日(金)午後(13:00～17:30)

1. 飯綱高原の環境と五輪／担当；上原 巖(森と福祉研究会)・案内；清水久美子(コープなごの)
2. 動物園と環境教育／担当；高橋宏之(千葉市動物公園)・陸 斉(長野県自然保護研究所)
3. 産業廃棄物処分場と環境／担当；伊藤幸男(長野県立飯山北高校)・案内；関口鉄夫(長野県廃棄物問題研究会)
4. 身近な水辺と環境教育／担当；斉藤昇三(長野県堀金村立堀金中学校)・案内；松岡保正(長野工業高等専門学校)
5. 松代大本営と地域の環境／担当；高橋秀雄(長野県立中野実業高校)・案内；大日方悦夫(松代大本営の保存をすすめる会)
6. 湯の丸高原の自然保護／担当；小林 詢(信州大学)・案内；別府 桂(信州大学)

講演発表

5月27日(土)10:00～12:00

- A101 林 智(元大阪大学)
環境教育とは何か
- A102 新田和宏(地球市民総合研究所)
環境教育が直面する最大の課題－グローバル化と持続不可能な社会－
- A103 原田泰(物質工学工業技術研究所)
参加体験型環境教育における気づき・理解の段階から問題解決行動への展開の壁はどうすれば乗り越えられるか？
- A104 ○中村織江*・川村協平*(*山梨大学)
問題解決力を育む環境
- A105 水山光春(京都教育大学)
環境学習における意志決定と合意形成(社
- 会科教育の視点から)
- A106 ○木谷要治・山根一晃(鎌倉女子大学)
価値観の育成について－環境倫理観形成の基礎としての多元的多値的思考の能力と態度を育てる方策を探る－
- B101 三木勝仁(旭川市立旭川小学校・北海道教育大学大学院)
石狩川水系流域の環境情報ネットワーク
- B102 山口裕司(宮崎公立大学)
ネットワーク運動は日本版「緑の党」か
- B103 安岡潤子(WWWジャパン)
WWF環境教育実践コース～WWFとつくるフィールドプログラム～
- B104 朱雀英八郎(日本自然保護協会 野外活動講師)
里山公園構想の生態的検討より豊かな生態系作り
- B105 ○中端章博(埼玉大学大学院教育学研究科)・阿部治(埼玉大学教育学部)
日本のイルカ漁の歴史と現状に関する研究2
- B106 安溪貴子(山口大学非常勤・生態学)
日本の森をまもることは世界の森をまもること
- C101 古屋善啓(鎌倉市役所)
環境教育における学校と地域との連携
- C102 小林詢(信州大学)
ソルトレイクシティとその周辺地域における環境対策－2002年冬季オリンピック開催に向けた取り組み－
- C104 服部浩治(大山町役場)・○西川芳昭(久留米大学経済学部)・佐藤快信(長崎ウエスレヤン短期大学)
山村地域小学校における森林資源管理と森林教育の連携
- C105 ○稲垣良介(中津川市立落合中学校)・城後豊(北海道教育大学札幌校)
地域河川を核にした環境教育プログラム(I)－体験活動を重視した中学校3カ年間のプログラム作成－
- C106 原田智代(せいわエコクラブ 大阪市天王

- 寺区在)
 こどもエコクラブ・中学メンバーの活動ー
 環境教育を地域の人たちに知らせるー
- D101 ○佐藤快信(長崎ウエスレヤン短期大学)
 ・西川芳昭(久留米大学)・道山治延(福岡大学)・佐藤敬一(東京農工大学)
 大学生の環境意識調査
- D102 ○井元りえ*・妹尾理子*・小澤紀美子*
 (*東京学芸大学)
 大学生の環境問題に対する意識・行動に関する研究ー小・中学校の教師との比較ー
- D103 ○大堀幸子*・ロアン タン ビン*・菊池幸*・河野汀*(湘南工科大学)
 「原子力と環境」に関する工科系学生の意識ー
 “臨界事故”をうけてー
- D104 上野芳久・田坂さつき・○水町龍一(湘南工科大学)
 工科系単科大学における環境教育の一例
- D105 ○河野汀*・荻原宏泰*・梶川武信*・佐藤甲癸*・日高健彦*・山本尚志*(*湘南工科大学)
 工科系学生に対する環境教育(4)
- D106 和田武(立命館大学産業社会学部)
 大学における副専攻「環境論コース」による
 教育実践と受講生の反応
- E101 ○岩本泰(東京学芸大学大学院)・原子栄一郎(東京学芸大学附属環境教育実践施設)
 学校環境教育における「責任ある環境行動」
 の育成についての研究
- E102 ○高井久(信州大学大学院)・森山潤(信州大学教育学部)
 米国における数学・理科・技術科の統合学
 習カリキュラムIMaSTの学習モジュール
 「Food Production(食糧生産)」の教育内容
 の構成
- E103 松葉口玲子(鳴門教育大学)
 新教育課程における環境教育の視点と教科
 書ー家庭科を事例にー
- E104 ○妹尾理子*・井元りえ*・小澤紀美子*
 (*東京学芸大学)
 教師の環境教育への取り組みと意識に関する研究
- E105 椋代惟親(大阪音楽大学)
 環境問題への気付き(感性・センス)と問
 題解決への実践力を育てるための教師の理
 念と教育インフラ整備の役割
- E106 新見治(香川大学教育学部)
 学校教員・教育者養成カリキュラムと環境
 教育
- F101 小川かほる・山本佳代子・清水芳明・遠藤
 良太・平田和弘・○内山真義(山武に雑木
 林をつくる会、千葉県)
 山武に雑木林をつくる会の活動と環境学習
- F102 ○遠藤良太(千葉県林業試験場)・榎本博
 明(大阪大学)・榎本恵理
 千葉県における森林ボランティアの現状
- F103 ○比屋根哲(岩手大学農学部)・大石康彦
 (森林総合研究所東北支所)
 森林教育の実践が児童・生徒の森林・林業観
 に及ぼす影響
- F104 ○小山泰弘(長野県林業総合センター)・
 山口勝也(長野県林業振興課)
 森林・林業の普及啓発に向けたプログラム
 開発のとりくみー森の博士研究所の3年間
- F105 ○松山正将*・菊地清文*・花測健一*・佐
 伯吉勝*(*東北工業大学)
 社寺空間等の利活用に向けて
- G101 辻英之(グリーウッド遊学センター)
 薪の暮らしから見た1年間の子ども長期自
 然体験村ー長野県下伊那郡泰阜村での長期
 生活体験型環境教育を事例にー
- G102 ○井上裕美子*・平田富士男*・(*兵庫県
 立淡路景観園芸学校)
 中山間地域の児童の自然環境への関心と自
 然観察教室のあり方
- G103 藤本 史(岐阜大学連合農学研究科(信州
 大学))
 農村通学路における子どもの行動
- G104 ○岩本廣美(奈良教育大)・忠谷嘉人(奈
 良教育大・学)
 鴨川における子どもの親水行動と水辺環境
- G105 ○増田貴志(兵庫県立淡路景観園芸学校)

- ・平田富士男
小学生サマースクールの実態
- G106 ○稲垣榮洋（のらり会・静岡農試）・嶺田拓也（のらり会・愛媛大農）
コドモ水稲同時作の試みー子どもたちと田んぼの未来のためにー
- H101 中道貞子（奈良女子大学文学部附属中等教育学校）
総合教科<環境学>～10年の取り組み～
- H102 上浦一道・大内淳也・中道貞子・○屋鋪増弘（奈良女子大学文学部附属中等教育学校）
ごみは21世紀に残していいの～総合教科「環境学」の取り組み～
- H103 川北裕之（千葉県立小金高等学校）
総合学習「環境学」の実践報告～課題の発見・設定を中心に～
- H104 中島美恵子（富山県高岡市立定塚小学校）
自然的・社会的・文化的環境の一体化による主体的環境観の育成（その12）ー総合的な学習「ごみと環境」の実践を通してー
- H105 ○渡辺敦*・土屋晴子*（*特定非営利活動法人かながわ環境教育研究会）
総合的な学習における持続可能性教育の課題と実践
- H106 藤岡達也（大阪府教育センター）
ーSTS教育の観点を持った野外研修と総合的な学習
- I101 ○日比純子（岐阜大学教育学部）・杉原利治（岐阜大学教育学部家政教育）
環境に対する認識・行動と教育に関する研究（3）環境家計簿を用いた授業実践
- I102 森井康幸（吉備国際大学）
中学校における環境教育ー生徒と教師へのアンケート調査からー
- I103 ○森幸一（滋賀県甲南中）・星野将直（新潟市内野中）・久樹富貴子（大田区六郷中）
酸性雨問題啓発事業モデル校による環境学習の報告
- I104 瀧田健司（名古屋市立大曾根中学校）
ごみ減量への中学生の取り組み～総合的な学習と生徒会活動をリンクさせて～
- I105 鳩貝太郎（国立教育研究所）
我が国の中学生の環境問題に関する意識と知識ー第3回国際数学・理科教育調査からー
- I106 竹澤伸一（千葉県市川市立大洲中学校）
市民としての参加意識を高める社会科環境学習の授業構成
- J101 原田康子（和泉短期大学）
保育園における園外活動の頻度 相模原市立保育園の場合
- J102 松永三姉緒（大阪薫英女子短期大学）
幼児期環境教育の現状と課題
- J103 ○井上美智子（姫路学院女子短期大学）・田尻由美子（精華女子短期大学）
幼児期の環境教育普及にむけての課題ー1990年代の幼児期の環境教育の実態分析からー
- J104 佐島群巳（帝京短期大）・信澤芳江*・平山許江（文京女子大）・伊藤瑞穂（慈光幼稚園）・○鷹野由希子*（*大宮市立桜木小学校）
「資源・エネルギー・環境」に関する総合的な学習のカリキュラム開発（その5）ー幼稚園・小学校低学年の学習モデルの実践と検証ー
- J105 山下宏文（京都教育大学）・内野紀子（山梨大学）・○石原淳（文京区立金富小学校）
・佐島規（板橋区教育委員会）・下田聡子（杉並区立杉並第一小学校）・鈴木真（練馬区立石神井小学校）・田中明（川崎市立子母口小学校）・田邊佳伸（府中市立第六小学校）
「資源・エネルギー・環境」に関する総合的な学習のカリキュラム開発（その6）ー小学校中・高学年の学習モデルー
- J106 高山博之（日本女子大学）・○伊原浩昭（千葉市教育委員会）・井元りえ（東京学芸大学）・妹尾理子（東京学芸大学）・善財利治（千葉県白井町立大山口中学校）・伏木久始（東京学芸大学付属竹早小学校）
・○武田清美（文化女子大学附属杉並中・高等学校）・堀米達也（川崎市立西高津中学校）

「資源・エネルギー・環境」に関する総合的学習のカリキュラム開発研究（その7）
中学校・高等学校の学習モデル

展示発表

5月27日（土）～5月28日（日）

P001 清水悦子（塾講師）・渡辺彩子（群馬大学教育学部）

高等学校家庭科におけるまちづくり学習

P002 小泉伸夫（農水省家畜衛生試験場）

「サイエンスキャンプ」受け入れ機関としての、生命科学体験実習プログラムの取り組み

P003 川村協平*・陳盛雄（東京農大）・中村織江*（*山梨大学）・丘丹佳**・山田亮**（**山梨大学大学院）

中国、日本、台湾の児童・生徒の経験に関する比較

P004 山本義史*・杉浦嘉雄*（*日本文理大学）

自然体験キャンプが児童の心理的健康および自然観に与える効果（1）

P005 杉浦嘉雄*・山本義史*（*日本文理大学）

自然体験キャンプが児童の心理的健康および自然観に与える効果（2）

P006 鈴川典子*・中原正大*・山崎剛*・青木郁子*・加藤清史*（*ヤマギシズム地球村実行委員会）

子どもの合宿生活を通しての子どもの育ちについての一考察～4・5歳児の合宿生活の親へのアンケート調査をもとに～

P007 西田達生*・安藤幹夫*（*（株）オン）

児童参加型 学校ビオトープの創出意義ー計画から施工までー

P008 林 浩二（千葉県立中央博物館）

環境教育における討論（4）ー子どもの問いにあなたはどうかたえますか？

P009 菅原あつ子*・鈴木清彦*・枝松芳枝*（*仙台市環境学習リーダー養成講座環境学習グループ）

「身近なところから環境学習」を目指して

P010 陸 斉（長野県自然保護研究所）

自然保護NGOの、活動の中の環境学習

P011 太田和夫（埼玉県立自然史博物館）・厚沢正治*・長谷川寛*・清水保典*・長沢義則*・高橋絹世*・若山正隆（自然観察大宮フレンド）・谷山久子*・松島百合子*・内藤茂*・矢ヶ崎朋樹（国際生態学センター）・若山美智子*・古橋光弘*（*自然観察指導員埼玉連絡会）

ボランティア参加による地域の自然の調査とその成果ー荒川河川敷のハンノキ林ー

P012 嵯峨真紀子（（財）日本野鳥の会サンクチュアリセンター）

姫路市自然観察の森における団体利用状況とその実践内容

P013 橘 優子（（財）日本野鳥の会サンクチュアリセンター）

「福岡市油山自然観察の森」における学校利用の現状

P014 倉測理恵*・浅野綾子*（*（財）日本野鳥の会サンクチュアリセンター）

学校による環境教育関連施設利用の現状

P015 高井賢一*・天野雅夫*・松谷陽子*・鎌田靖子*・山田悦子*・渡辺りわ*・桔梗祐子*・小山真輔*・高原哲史*・谷口文章*（*甲南大学）

環境問題と環境創造ー環境教育の実践を通じてー

公開シンポジウム

5月27日（土）午後（13:30～16:30）

シンポジウムテーマ＜環境教育ー学校の内と外＞
パネリスト（五十音順）

北沢あさ子（はなのき友の会代表）

竹前たか子（ブルーアイス長野代表）

種山みどり（長野県池田町立会染小学校教諭）

豊田謙二（福岡県立大学教授）

コメンテータ

江田 稔（文部省初等中等教育局主任視学官）

基調報告

渡辺隆一（信州大学）

コーディネータ

鶴飼照喜（信州大学）

萩原 彰（長野県立松代高校）

総合司会

陸 齊（長野県自然保護研究所）

長野県高等学校教育文化会議

自然学校「ふる里あったかとお」

上田自然探訪の会

野外教育クラブ

信州大学環境教育分野

鍋倉山ブナ林観察会

長野県環境教育研究会

砂防ダムいらぬ？ 溪流保護ネットワーク

信州の教育と自治研究所

総合環境研究所（信州ビオトープの会）

講演発表

特別企画「信州の環境教育」展

5月27日（土）～28日（日）

出展団体

長野県自然保護連盟

松代大本營の保存をすすめる会

長野自然観察の会

環境フォーラム信州

コープながのいんぷり連絡会

長野市立博物館 友の会 しなの星空散歩きら
きら

長池の会

ブルーアイス長野

生活と教育の会

自然観察指導員長野県連絡会

戸隠村地質化石館

須坂水の会

やまぼうし自然学校

にっぽんこどものじゃんぐる

ネイチャースキー研究所

ヤマンバの会

星野リゾート・ピッキオ

信州ツキノワグマ研究会

松本ナチュラリストクラブ

信州ワシタカ類渡り調査研究グループ

はなのき友の会

グリーンウッド遊学センター

キープやまねミュージアム

長野県水辺環境保全研究会

5月28日（日）午前・午後（9:00～13:40）

A 201 ○高橋正弘（（財）地球環境戦略研究機関）
・阿部治（埼玉大学）

環境教育の制度化

A 202 原子栄一郎（東京学芸大学附属環境教育実
践施設）環境教育制度化時代における自己生成する
批判的環境教育A 203 矢内秋生（武蔵野女子大学現代社会学部）
環境リスクを軽減するための下位文化

A 204 榎本博明（大阪大学）

環境倫理に関する意識調査

A 205 ○西城戸司（埼玉大学理学部）・篠崎恵昭
（埼玉大学教育学部）アンネのバラと平和の文化国際年ー平和と
環境を文化で結ぼう！ー

A 206 若林身次（京都大学大学院）

現代ドイツにおける環境教育論の諸視座
（1）ー「エコ教育学」に注目してーA 207 ○清水麻記（広島大学大学院教育学研究科）
・田中春彦（広島大学大学教育学部）生涯学習における環境教育ースウェーデン
の環境教育の事例を通してー

A 208 植月千砂（京都橘女子大学非常勤講師）

パーマカルチャーの手法による菜園、果樹
園づくりA 209 中西由美子（愛知県断酒連合会 “仲間”の会”
作業所）

園芸療法・自然を通じて学ぶーアメリカ知

的障害者施設での取り組み～

- A210 菅 由美子 (園芸療法士 BAKU Nature & Persons)
アルプスの少女ハイジより学ぶ園芸療法のあり方
- A211 西元和夫 (龍谷大学非常勤講師)
環境問題と言葉
- A212 秋田英康 (京都大学大学院生)
「自分は死ぬ」ということと「環境教育」
- B201 樋口利彦 (東京学芸大学環境教育実践施設)
市民の自然調査活動から環境保全マスタープラン参画への発展過程
- B202 田中敏久 (学校教育ネットワーク・東京都板橋区立大谷口小)
地域の歴史的環境と市民参画型公園づくりー「(仮称)谷戸公園」(東京都田無市)の場合ー
- B203 ○山田泰司*・高木史人* (*市川市民)・加藤正**・大瀧晴夫** (**市川市役所)
市民参加でつくる環境基本計画ー「市川市環境市民会議」の活動についてー
- B204 ○土屋晴子*・渡辺敦*・安芸敦子*・松尾敏行* (*特定非常利活動法人かながわ環境教育研究会)
「地域環境リーダー育成講座」の新しい企画手法への取り組み
- B205 笹谷康之 (立命館大学)
市民参加による環境まちづくり活動を誘発させる環境教育
- B206 平田富士男 (姫路工業大学・淡路景観園芸学校)
緑豊かなまちづくり活動への参加促進における公共空間緑化実習の効果
- B207 陣内雄次 (宇都宮大学教育学部)
まちづくり教育の可能性と必要性に関する一考察ー石川県を例にー
- B208 高山進 (三重大学生物資源学部)
三重県のパートナーシップ運営環境行動支援制度について
- B209 増田直広 (財団法人キープ協会)
地域資源を活用した広域型環境教育システムの現状と課題 その3ー八ヶ岳環境と文化のむらを題材としてー
- B210 ○阿部礼恵*・木俣美樹男* (*東京学芸大学)
食をめぐるライフスタイルから見た環境認識ー山梨県北都留郡小菅村・丹波山村を事例としてー
- B211 ○山口洋典 (財団法人大学コンソーシアム京都・草津コミュニティ支援センター)・笹谷康之 (立命館大学)
市民活動拠点施設における地域通貨発行による環境教育効果ー地域内のつながりの実感による環境への配慮と意識の高揚ー
- B212 ○外川隆*・樋口利彦* (*東京学芸大学環境教育実践施設)
持続的地域社会の創造と環境教育との関わりー岩手県田野畑村と早稲田大学による「思惟の森」の実例からー
- C201 赤尾整志 (グローバル環境文化研究所)
学校ビオトープの基礎的研究 (Ⅲ)ー共生の空間的レベルー
- C202 ○近藤弘隆**・木村哲則** (** (株)豊造園)・岩元一男*・中島知明* (*さくら(株))
学校ビオトープの創出意義ー計画から施工までー
- C203 清田秀雄 (江東区土木部河川公園課)
ビオトープ管理に関する体制づくりー江東区での試みー
- C204 田 明男 (大阪市立都島小学校)
地域の支援による学校ビオトープの保全学習
- C205 ○大石康彦 (森林総合研究所東北支所)・比屋根哲 (岩手大学)・和田政男 (北上中学校)・中村文治 (岩手県北上地方振興局)
学校林における森林学習活動ー森林調査活動の実施と生徒の意識ー
- C206 ○荒美紀子*・斉藤庸平*・平田富士男*・岩崎寛* (*兵庫県立淡路景観園芸学校)
淡路島島内全小学校共同環境一斉調査に関する研究

- C207 ○山尾健一（天津市立唐崎小学校・滋賀大学大学院）・川嶋宗継（滋賀大環境教育湖沼実習センター）
協働でつくる水環境学習教材集の開発ー学校と環境教育センターとの連携を通してー
- C208 植田善太郎（大阪泉大津市立上條小学校）
環境教育のための土壌教育に関する教材開発研究ー3年「土の性質と土の中の生き物」ー
- C209 ○渋谷友和（奈良教育大学教育学部学生）
・岩本廣美（奈良教育大学教育学部）
小学校におけるエネルギー・環境教育の実践状況に関する研究～福井県・大阪府の公立小学校の事例を通して～
- C210 ○湊秋作（キープやまねミュージアム・前熊野川小学校）・佐藤良晴*・世知原順子*（*右:エンウイット）・植松修*・村上均*・山中昭岳*・谷瀬収見*・岡本睦美*・福岡和子*・村上雅子*・石神和弘*・濱田由佳*・田中ゆかり*・飯田由美*・阪口裕之*・真砂美紀*（*熊野川小学校）
だれでもが環境教育に取り組みやすくするための小学校の環境教育カリキュラムのソフト化
- C211 ○高島耕一郎（吹田市立山田中学校・吹田自然観察会）・○下村研司（吹田市立西山田小学校・吹田自然観察会）
地域のヒメボタル調査と小学校での教育
- C212 ○津田美子*・伊藤薫*（*名古屋市立正木小学校）・津田智（岐阜大学流域環境研究センター）
ゲームでまとめる小学4年生の水の学習
- D201 下羽友衛（東京国際大学国際関係学部）・○西館崇*・○永蘭香代*（*東京国際大学国際関係学部下羽ゼミナール4年）
若者に環境問題をわかってもらうためにー現場体験から学ぶことの教育的意義ー
- D202 小堀洋美（武蔵工業大学環境情報学部）
大学における環境インターンシップの実践
- D203 ○杉森正敏*・林和男*（*愛媛大学農学部）
大学演習林での木材伐採から利用・廃棄までの体験学習
- D204 森 美文（鶴見大学）
インタープリテーションによる環境教育演習
- D205 榎本恵理・榎本博明（大阪大学）・○遠藤良太（千葉県林業試験場）
自然体験・生活体験と環境に対する態度
- D206 ○山本正高（甲南大学研究生）・川西正志*・柳敏晴*（*鹿屋体育大学）・谷口文章（甲南大学）
Environmental Impactが継続意欲に与える影響～キャンプ場利用者の活動体験を通じて～
- D207 永川元（神奈川県立久里浜高等学校・東京学芸大学連合大学院）
「環境教育」に関するアンケート調査ー高校生及び高校理科教諭を対象にー
- D208 飯尾美行（静岡県立浜松城北工業高等学校・環境クラブ顧問）
特色ある工業教育と環境教育ー継続した環境教育活動とその成果ー
- D209 田伏政昭*・○佐武光展*・清水理*・喜多嶋伸幸*・近藤信龍*（*和歌山県立向陽高等学校環境科学科）
授業研究ー環境家計簿コンピュータ版を使ってー
- D210 ○長谷川有機子（イヤー・ゲームの会）・佃文子（四郷高校）・塚平恒雄（摂陵高校）
三都こども音環境サミット「身近な音から環境を考える」の試みと成果
- D211 ○岩井省一（河合塾）・今村光章（仁愛女子短期大学）
高等学校公民科「現代社会」における環境問題の取り扱いについてー教科書を中心にー
- D212 ○今安和彦（滋賀県立水口高等学校）・川嶋宗継（滋賀大環境教育湖沼実習センター）
高校における環境学習の導入に使うカードゲーム
- E201 杉浦公昭（東洋大学工学部）
ダイオキシンで注目の所沢市の環境汚染と人々の健康について
- E202 榎原洋子（愛知教育大学）

- 環境教育における地球規模認識の重要性－
廃棄物問題に関する実践を通して
- E 203 宮下繁（京都府立西舞鶴高等学校）
シュレッダー紙くずからの再生紙作り
- E 204 ○岩淵善美*・仁井本貴庸*・村上裕子*・
笠原三紀夫*・東野達*（*京都大学大学院）
容器包装材のリサイクルに関する研究
- E 205 吉田信昭（東京学芸大学大学院教育研究科）
自動車リサイクルへの取り組み
- E 206 磯部容子（佐賀大学文化教育学部）
衣生活と環境教育（第Ⅲ報）－着なくなった
衣類の行方－
- E 207 高月紘（京都大学環境保全センター）
日本の食品ごみを考える
- E 208 ○辻正博（名古屋大学理学部）・檜尾一
（名古屋栄養専門学校）
給食管理実習で生じる生ゴミの肥料化と植
物実験
- E 209 ○平井なか（住宅総合研究財団）・小澤紀
美子（東京学芸大学）
住環境教育としての「ミニミュンヘン」－
子どもの「市民力」を育てる－
- E 210 ○矢間秀次郎（ATT流域研究所）
住環境教育からの出発－国民の健康保持と
健全な国土の再生に向けて
- F 201 林英史（株式会社エキープ・エスバス）
都市公園における環境保全教育の可能性
- F 202 ○土屋英男（京都教育大学）・尾崎晃一
（近畿大学）
近畿一部地域の公園における子どもの利用
実態と子どもの視点からみた公園のあり方
- F 203 ○小久保恵美子*・上田治子*・平田富士
男*（*淡路景観園芸学校）
地域における緑化ボランティアグループへ
の参加促進手法とその効果
- F 204 大島英樹（立正大学文学部非常勤）
「あるくみるきく」の授業実践－成人教育
としての環境教育へ向けて（V）－
- F 205 峰岸久雄（多摩の自然とまちづくりの会）
緑の相談所における環境教育
- F 206 渡邊重義（愛媛大学教育学部）
「身近な自然」に関する意識調査
- F 207 柳田一郎（（財）屋久島環境文化財団）
世界自然遺産会議を終えて
- F 208 ○磯部光一*・小澤紀美子*（*東京学芸大
学）
環境コミュニケーションに関する研究－環
境広告と環境報告書を中心として－
- F 209 君島俊克（東京学芸大学大学院）
社会教育における環境教育の実施設とし
ての国立公園－国立公園レンジャー養成の
重要性－
- F 210 ○村上裕子*・岩淵善美*・仁井本貴庸*・
笠原三紀夫*・東野達*（*京都大学大学院）
ホテルにおける環境負荷低減効果に関する
研究
- G 201 ○白井豊*・藤原道郎*・江口誠一*（*千
葉県立中央博物館）
博物館の展示を用いた事前講座と現地観察
会による環境教育－景観模型を通し地形地
質・植生・歴史地理の視点から地域を見る
- G 202 小川かほる（千葉県立中央博 環境教育研
究科）
博物館と環境教育－対等な学びの場づくり－
- G 203 ○戸田敬（埼玉大学大学院）・石田康幸
（埼玉大学教育学部）
体験型環境教育施設に関する研究（その1）
- G 204 ○小川宏樹（三重大学工学部大学院）・高
山進（三重大学生物資源学部）
東海地域の公設環境教育施設の運営状況に
ついて
- G 205 ○小杉慶子（横浜雙葉学園中学高等学校）
・今永正文*・倉淵理恵*（*（財）日本野
鳥の会サンクチュアリセンター横浜自然観
察の森担当）
学校は環境学習施設をどのように利用する
か－横浜雙葉学園生物部の実践例から－
- G 206 ○浅野綾子*・倉淵理恵*（*（財）日本野
鳥の会サンクチュアリセンター）
学校による環境教育関連施設利用の現状
- G 207 松本朱実
学校の動物園利用における環境教育の目的

- と内容
- G 208 高橋宏之（千葉市動物公園・東洋大学大学院）
動物園における環境教育～環境教育としてのメッセージを伝えるには
- G 209 長倉かすみ（Bristol Zoo Gardens）
環境教育施設としての動物園－Bristol Zoo Gardens（UK）を例にして
- G 210 中嶋清徳（(財)名古屋港水族館）
水族館と環境教育－ガブリロ水族館（ロサンゼルス）からみたアメリカの水族館における教育活動の取り組みから－
- H 201 小寺正明（環境・国際研究会）
中国での環境教育と国際協力
- H 202 ○木俣美樹男（東京学芸大学環境教育施設）
・Laddawan Kanhasuwan*・Siriwat Soondarotok*（*EEC, Rajabhat Institute Phranakhon）
タイにおける環境学習活動
- H 203 中須正（東京都立大学大学院博士課程）
タイにおける環境運動・環境政策・環境教育
- H 204 NGUYEN THI THAN（早稲田大学大学院）
ベトナムの小学校における地域環境教育のあり方
- H 205 ○阿部治（埼玉大学）・ビシュヌ バンダリ（(財)地球環境戦略研究機関）
アジア太平洋地域における環境教育の現状と課題
- H 206 ○佐藤真久（(財)地球環境戦略研究機関 IGES）・阿部治（埼玉大学）
アジア太平洋地域の高等教育段階における環境教育の実施傾向と課題～マトリクス分析によるサブリーショナルな地域特性、高等教育の発達段階との関連～
- H 207 ○野村康（(財)地球環境戦略研究機関）
・阿部治（埼玉大学）
インドネシアのNGOによる環境教育の現状と課題
- H 208 石井皓（千葉県環境研究所）
アセアンにおける音の環境教育とテキスト作り
- H 209 佐藤孝則（天理大学おやさと研究所）
- 東洋的自然観の再評価Ⅲ．タオイズム（Taoism）と環境教育
- H 210 山田弘司（大阪市教育振興公社生涯教育講師）
東洋思想における人間性心理学より環境を考える
- I 201 ○小淵幸輝*・小林毅*（*自然教育研究センター）
インタープリテーションにおける小道具の効能
- I 202 小林毅（自然教育研究センター）
インタープリテーションの手法としてのレンタルボックス
- I 203 細山田三郎（鹿児島大学教育学部）
身近な自然から環境を学ぶ－ナンゴクテンジソウの観察－
- I 204 西田謙二（滋賀県立石山高高等学校）
クズのさらなる教材化
- I 206 本庄眞（香芝市立真美ヶ丘東小学校・奈良環境教育研究会）
お茶を通じた環境教育の提案－民族博物館との連携－
- I 207 ○升島永美子（広島大学大学院）・田中春彦（広島大学教育学部）
環境教育における感性の涵養－芸術教育を通して－
- I 208 藤田均（青森大学大学院環境科学研究科）
ワンダリングによる自然とのふれあい
- I 209 ○葛西市治*・平田富士男*（*兵庫県立淡路景観園芸学校）
環境教育素材としてのケナフの炭化利用について
- I 210 ○脇谷貴成（京都教育大学大学院）・土屋英男（京都教育大学）
物質循環概念の理解につなげる水耕栽培用教材の開発
- J 201 梁川正*・○平井順子*・土倉亮一*・（*京都教育大学）
簡便な無菌培養法によるトウテイランの増殖
- J 202 ○菊地幸*・大堀幸子*・河野汀*（*湘南工科大学）

八丈島の自然環境

- J 203 辻 忠恭 (東京学芸大学環境教育実践施設)
ヒートアイランド現象を教材とした環境教育の可能性
- J 204 ○田村憲司*・東照雄* (*筑波大学応用生物化学系)
体系的な土壌の環境教育に関する研究—第3報 土壌型の認識と環境教育—
- J 205 ○見上一幸・村松隆 (宮城教育大学)・岩淵成紀・国井恵子 (仙台市科学館)
野外フィールドのリモートセンシングと自然環境教育
- J 206 ○新井正一*・池田勝枝* (*目白大学人間社会学部社会情報学科)
インターネットを活用した環境教育—立ち枯れの現地観測と情報発信II—
- J 207 ○熊澤峻子 (日本環境教育学会会員)・熊澤貴子 (WWFJ会員)
流域活動の中から～コイのピテロジエニン調査等の報告～
- J 208 高野憲一 (須坂水の会)
須高地方 (長野県須坂市・上高井郡高山村及び小布施町) の酸性河川水について
- J 209 森淳子 (長崎県衛生公害研究所)
環境教育における衛生公害研究所の役割
- 阪教育大学大学院)・田中広樹・中嶋清徳 (名古屋港水族館)
：動物園と環境教育～動物園での環境教育の可能性を考える～
- S 204 石川聡子 (大阪教育大学)・塩川哲雄 (大阪府立北千里高等学校)
：広くゆきわたった価値観を問い直す環境教育—批判的環境教育の試み—
- S 205 小林毅 (自然教育研究センター)・古瀬浩史 (自然教育研究センター)
：インタープリター (環境教育指導者) 養成のカリキュラム再考
- S 206 北野日出男 (創価大学)・原田智代 (せいわエコクラブ)・阿部道彦 (農山漁村文化協会)
：食と農をめぐる環境教育

ミニシンポジウム

5月28日 (日) 午後 (13:40～16:10)

- M201 樋口利彦 (東京学芸大学環境教育実践施設)・山下脩二 (東京学芸大学)
：グローブ、アイルネットとグローバルな環境学習
- M202 赤尾整志 (グローバル環境文化研究所)・村上敏 (しずおか環境教育研究会)
：環境教育と学校ビオトープ (IV) —学校ビオトープ・ネットワーク
- M203 西城戸司 (埼玉大学)・白砂洋志夫 (清泉女学院短期大学)・和田武 (立命館大学)
：大学環境教育と持続可能な社会への展望

ワークショップ

5月28日 (日) 午後 (13:40～16:10)

- S 201 藤岡達也 (大阪府教育センター)・中井精一 (大阪府教育センター)・谷村載美 (大阪市教育センター)・大辻永 (筑波大学教育学部)
：地域を主題とした「総合的な学習」と環境教育
- S 202 菅由美子 (アメリカ園芸療法協会認定・園芸療法士 BAKU Nature & Persons)・中西由美子 (愛知県断酒連合会「仲間の会」作業所)
：園芸療法実践入門
- S 203 高橋宏之 (千葉市動物公園)・佐渡友陽一 (静岡市立日本平動物園)・松本朱実 (大
- W202 増田直広 ((財) キープ協会)・川嶋直 ((財) キープ協会)
：環境教育における評価を考える
- W203 小河原孝生 (生態計画研究所)・重松朋子 (生態計画研究所)
：プロジェクト・ワイルド体験ワークショップ—総合的な学習の時間&自然体験活動の充実に向けて